

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	対人関係の障害		
英文授業科目名	Disturbed Interpersonal Relation		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 健滋		
居室	保セ202		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kjtanaka@office.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
代表的な日本人論の検討を通じ、日常生活の対人関係を考える。さらに、そこに現れる対人関係の病理について検討する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
教科書：土居健郎「続「甘え」の構造」（弘文堂）
参考書：土居健郎「「甘え」の構造」（弘文堂）、恒吉遼子「人間形成の日米比較」（中公新書）、ルース・ベネディクト「菊と刀」（社会思想社）、中根千枝「タテ社会の人間関係」（講談社現代新書）

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

各回の担当者が、テキスト（教科書）の担当部分の内容をまとめたレジェメを配り、それを説明し質疑を受ける。他の人は、あらかじめその部分を読んでおく。
セミナー終了後、最終レポートを全員が提出する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

概ね、以下の合計による。ただし出席が2/3以上ない場合は評価対象とならない。

- (1)出席および討論参加度（30点）
- (2)担当部分の発表（30点）
- (3)最終レポート（40点）

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

各概念の定義をよくとらえること。
セミナーでは遠慮無く自分の考えを述べること。

【その他】